

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 5年1学期

| 係を工夫しよう | | (1時間) | |
|-------------------------|--|---|--|
| ねらい | 学級の仕事を全員で分担して取り組むよさや必要性を基に、学級に必要な係について根拠を明らかにして話し合い、係活動とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に工夫して取り組むことによって、全員で分担、協力して仕事に取り組む充実感を味わう。 | | |
| 評価 規準 | (①知・技) 学級に必要な係について相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級に必要な係についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級に必要な係について話し合ったり係の仕事を行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、4年生の時の係活動を振り返る時間を設定する。 | |
| 本時 | ○学級の仕事を全員で分担して取り組むよさや必要性を知る。 ○学級に必要な係について根拠を明らかにして話し合い、自分の取り組みたい係を決める。 ○係ごとに話し合い、めあてを決めたり、活動の計画を立てたりする。 | ○話し合いへの意欲を高められるように、役割を果たすことによって学級の役に立っている具体的な姿を紹介する。 ○係活動にふさわしい係を考えられるように、当番活動との違いについて助言する。 ○話し合いへの意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇取り組みたい係を選んだり、活動の計画を立てたりしている <行動・ポスター①②③> |
| 事後 | ○めあてや計画に基づいて常時活動に取り組む。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・係ごとにポスターを作り、掲示する。 | | | |

| 委員会組織をつくろう | | (1時間) | |
|------------|---|---|--|
| ねらい | 委員会の仕事を全員で分担して取り組むよさや必要性を基に、担当する委員会について根拠を明らかにして話し合い、学級の委員会組織を集団決定するとともに、委員会活動に責任をもって取り組むことによって、上級生として学校の仕事に分担、協力して取り組む充実感を味わう。 | | |
| 評価 規準 | (①知・技) 担当する委員会について相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 担当する委員会を決めることについての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、担当する委員会について話し合ったり委員会活動に責任をもって取り組んだりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、委員会活動に取り組んでいる写真を提示する。 | |
| 本時 | ○委員会の仕事を全員で分担して取り組むよさや必要性を知る。 ○担当する委員会について根拠を明らかにして話し合う。 ○学級の委員会組織を決める。 | ○話し合いへの意欲を高められるように、委員会活動が学校全体をよりよくする活動であることを助言する。 ○具体的に自分の取り組みたい委員会について考えられるように、委員会ごとの活動内容について助言する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の取組に向けて励ましたりする。 | ◇根拠とともに担当したい委員会を発言したり、記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③> |
| 事後 | ○責任をもって委員会活動に取り組む。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 | | | |

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 5年1学期

| 学級活動の計画をつくろう (1時間) | | |
|-----------------------|--|--|
| ねらい | 計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさを基に、計画委員会ごとに取り組む議題について根拠を明らかにして話し合い、担当する議題を集団決定するとともに、役割を分担し合って協力して取り組むことによって、自分たちで生活をよりよくする充実感を味わう。 | |
| 評価規準 | (①知・技) 担当する議題について相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 担当する議題を決めることについての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、担当する議題について話し合ったり自分の役割を行ったりしようとしている。 | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、1学期の計画委員会のよかったところを伝える。 |
| 本時 | ○話し合いへの意欲を高められるように、計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさを助言する。 ○取り組みたい議題が考えられるように、後期に行う議題のおおよその内容がわかる資料を提示する。 ○実践への意欲が高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇根拠とともに担当したい議題を発言したり、計画を立てたりしている。 <発言・学級活動計画書①②③> |
| 事後 | ○計画委員会ごとに学級活動計画書を作成する。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 |
| 【備考】 ・学級活動計画書を準備しておく。 | | |

| 学級ギネス大会をしよう (2時間) | | |
|-------------------|--|---|
| ねらい | 様々な種目で記録をつくることによって、一人一人のよさが出る楽しさを基に、一人一人のよさを生かす集会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、役割を分担し合って協力して集会を行うことによって、一人一人のよさを生かした活動をつくる楽しさを味わう。 | |
| 評価規準 | (①知・技) 一人一人のよさを生かす集会の内容について相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 一人一人のよさを生かす集会の内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、一人一人のよさを生かす集会の内容について話し合ったり自分の役割を行ったりしようとしている。 | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 |
| 事前 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、学級ギネス大会の種目の例を伝える。 | |
| 第1時 | ○話し合いへの意欲を高められるように、様々な種目で記録をつくることによって、一人一人のよさを生かせることを助言する。 ○具体的な集会の内容や発表形態について助言する。 ○実践への意欲が高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇一人一人のよさを生かせることや、みんなが得意なこと等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③> |
| 第2時 | ○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認する。 ○日常生活に生かすか、そうという意欲をもてるように、一人一人のよさが発揮されたことや計画通りに集会が進められたことを称賛する。 | ◇決定したことを基に、みんなで協力して、よさを生かしながら楽しく集会をしている。 <行動③> |
| 事後 | ○ギネス大会で見付けた一人一人のよさを基に、友達と協力して生活する。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 |
| 【備考】 | | |

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 5年1学期

| 友達のよいところを見付けよう | | 5月(1時間) | |
|----------------|--|---|---|
| ねらい | 友達のよいところを見付け合うことよさを理解し、友達のよさを見付け、広めていく方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、互いに気持ちよく生活を送る。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 友達のよいところを見付け合うことよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 友達のよさを見付け、広めていく方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、友達のよさを見付け、広めていく方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、友達のよいところを考える時間を設定する。 | |
| 本時 | ○友達のよいところを見付け合うことよさを 知る。 ○友達のよさを見付け、広めていくための方法について根拠を明らかにして話し合う。 ○話し合ったことを基に、自分ができることを決める。 | ○問題意識を高められるように、友達の悪口を言う関係とよいところを見付け合う関係の違いについて助言する。 ○よりよい方法について具体的に話し合えるように、言葉で伝えること大切さに気付けるような助言をする。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの方法が決められた子どもを称賛する。 | ◇5年生らしいことや自分に合っていること等の視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③> |
| 事後 | ○自分で決めたことを実行し、取組を振り返る。 | ○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 | | | |

| 食事を見直そう(学校栄養士とのTT) | | 6月(1時間) | |
|-------------------------------------|--|---|--|
| ねらい | 成長期になると急に体が成長することを知り、栄養のバランスよく食べるための方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、食生活をさらに充実させる。 | | |
| 評価基準 | (①知・技) 成長期になると急に体が成長することを知り、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 栄養のバランスよく食べるための方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、栄養のバランスよく食べるための方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、自分の食生活について振り返る時間を設定する。 | |
| 本時 | ○成長期に成ると急に体が成長することを 知る。 ○バランスよく食べるための工夫について根拠を明らかにして話し合う。 ○自分に取り組むことを決定する。 | ○問題意識を高められるように、成長期になると急に体が成長することを助言する。 ○具体的な工夫について考えられるように、食事についての悩みや問題点をあげ、学校栄養士が助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの工夫が決められた子どもを称賛する。 | ◇栄養のバランスよく食べるための方法についての自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③> |
| 事後 | ○栄養バランスを意識して、食事する。 | ○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・学校栄養士と連絡を取り合い指導を進める。授業もTTで行う。 | | | |

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 5年1学期

| がんばりノートに取り組もう | | 5月(1時間) | |
|------------------------------|---|---|--|
| ねらい | 家庭学習の習慣をつけることの大切さを理解し、自分が工夫できるがんばりノートの取組方法や内容について、根拠を明らかにして話し合い、5年生にふさわしい取組方法や内容を決定するとともに一人一人が実行し、進んで自主学習に取り組む。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 家庭学習の習慣をつけることの大切さを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 自分が工夫できるがんばりノートの取組方法や内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、自分が工夫できるがんばりノートの取組方法や内容について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、がんばりノートの取組状況についてアンケート結果を提示する。 | |
| 本時 | ○家庭学習の習慣をつけることの大切さを 知る。 ○自分が工夫できる取組方法や内容について、 根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が実行していくことを決める。 | ○問題意識を高められるように、「学年×10分」が小学生の理想の家庭学習時間であり、学習内容の習熟と主体的に学ぶ習慣付けができることを助言する。 ○具体的な取組を考えられるように、4年生までに取組んできたことを想起するよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの取組が考えられた子どもを称賛したり励ましたりする。 | |
| 事後 | ○取組方法や内容を工夫し、継続してがんばりノートに取り組む。 | ○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・本時で実際のがんばりノートを紹介するとよい。 | | | |

| 夢や希望をもとう | | 6月(1時間) | |
|---|--|---|--|
| ねらい | 友達がもつ様々な夢や希望があることを知り、それぞれの夢や希望の大切さについて根拠を明らかにして話し合い、自分なりの夢や希望を再確認するとともに、その実現に向けた意識をもって生活を送る。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 友達がもつ様々な夢や希望があることを知り、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) それぞれの夢や希望の大切さについての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、それぞれの夢や希望の大切さについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、自分の夢や希望を確認する時間を設定する。 | |
| 本時 | ○様々な夢や希望があることを知る。 ○それぞれの夢や希望の大切さについて根拠を 明らかにして話し合う。 ○自分の夢や希望に向けて、取組んでいきたいことを考える。 | ○問題意識を高められるように、それぞれの夢や希望の大切さを問いかける。 ○夢や希望の大切さに気付けるように、夢や希望があることの「よさ」や「必要性」といった視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの夢や希望に向けて取組みたいことを決められた子どもを称賛する。 | |
| 事後 | ○自分なりの夢や希望をもって生活する。 | ○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・校内又は校外の人材を活用し、5年生当時にもった夢や希望について話してもらえるとよい。 ・キャリアパスポートとも関連させ、これまでの夢や希望を見返してもよい。 | | | |

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 5年1学期

| 1学期をふりかえろう | | 7月(1時間) | |
|-----------------|--|--|---|
| ねらい | 自分の生活を向上させてきたことのよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 自分の生活を向上させてきたことのよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、1学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表) 1学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、1学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材についての問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。 | |
| 本時 | ○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことのよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○1学期の振り返りをカードに書く。 | ○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつながった具体的なよい姿を提示する。 ○1学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれからの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ましたりする。 | ◇1学期の成果や課題を発言したり記述したりしている。 <発言・振り返りカード①②③> |
| 事後 | ○自分の振り返りに基づいて生活する。 | ○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。 | |
| 【備考】 ・通知表を配付する。 | | | |

| 夏休みの計画を立てよう | | 7月(1時間) | |
|--------------------------------------|--|--|---|
| ねらい | 夏休みを計画的に過ごすことのよさや必要性を理解し、夏休みに頑張りたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに一人一人が実行し、充実した夏休みを送る。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 夏休みを計画的に過ごすことのよさや必要性を理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 夏休みに頑張りたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、夏休みに頑張りたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、1学期の生活を振り返る時間を設定する。 | |
| 本時 | ○5年生の時の夏休みの反省や今の課題を発表し合い、めあてをもって夏休みを過ごすことの大切さを知る。 ○1学期の自分の成果や課題等を基に、夏休みのめあてを学習面、生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○夏休みのめあてを決め、「〇〇の夏休み」に書く。 | ○問題意識を高められるように、めあてをもって夏休みを過ごすことの大切さについて助言する。 ○夏休みにふさわしいめあてを考えられるように、夏休みだからこそできること等について助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが決められた子どもを称賛する。 | ◇夏休みのめあてを発言したり、記述したりしている。 <発言・〇〇の夏休み①②③> |
| 事後 | ○めあてに基づいて夏休みを過ごし、自己評価する。 | ○今後の生活の仕方を意識できるように、夏休み明けに実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・「〇〇の夏休み」を準備しておく。 ・夏休みの宿題を配付する。 | | | |

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 5年2学期

| 係を工夫しよう | | (1時間) | |
|-------------------------|---|---|--|
| ねらい | 1学期の成果を踏まえ、学級の係活動を見直して取り組んでいくよさや必要性を基に、2学期に必要な係について根拠を明らかにして話し合い、係活動とその仕事内容を合意形成するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で分担、協力して仕事に取り組む充実感を味わう。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 2学期に必要な係について相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 2学期に必要な係についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、2学期に必要な係について話し合ったり係の仕事を行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、1学期の係活動のよさを伝える。 | |
| 本時 | ○1学期の成果を踏まえ、学級の係活動を見直して取り組んでいくよさや必要性を知る。 ○1学期の活動を基に、必要な係について根拠を明らかにして話し合い、自分の取り組みたい係を決める。 ○係ごとに話し合い、めあてを決めたり、活動の計画を立てたりする。 | ○話し合いへの意欲を高められるように、学級の係活動を見直して取り組んでいくよさや必要性を助言する。 ○係活動にふさわしい係を考えられるように、2学期を見通して、活動に幅ができるような係編制になるように助言する。 ○実践への意欲が高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇2学期に必要な係を発言したり、係活動の計画を立てたりしている。 <発言・ポスター①②③> |
| 事後 | ○めあてや計画に基づいて取り組む。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・係ごとにポスターを作り、掲示する。 | | | |

| 学級活動の計画をつくろう | | (1時間) | |
|-----------------------|--|---|---|
| ねらい | 計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさや必要性を基に、計画委員会ごとに担当する議題について根拠を明らかにして話し合い、担当する議題を合意形成するとともに、役割を分担し合って協力して取り組むことによって、自分たちで生活をよりよくする充実感を味わう。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 担当する議題について相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 担当する議題を決めることについての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、担当する議題について話し合ったり自分の役割を行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、1学期の計画委員会のよさを伝える。 | |
| 本時 | ○計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさや必要性を知る。 ○計画委員会ごとに担当したい題材について、根拠を明らかにして話し合う。 ○担当したい題材の調整を行い、活動のめあてや役割分担等を決める。 | ○話し合いへの意欲を高められるように、計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさや必要性を助言する。 ○具体的な根拠を考えられるように、題材を扱う意味について助言する。 ○実践への意欲が高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇担当したい題材を選んだり、計画を立てたりしている。 <行動・学級活動計画書①②③> |
| 事後 | ○計画委員会ごとに学級活動計画書を作成する。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・学級活動計画書を準備しておく。 | | | |

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 5年2学期

| 運動会に向けて | | (1時間) | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| ねらい | 運動会でサブリーダーとしての役割を果たしながら取り組むよさや必要性を基に、運動会に向けた学級の取組について根拠を明らかにして話し合い、運動会への取組を合意形成するとともに、協力して取り組むことによって、運動会を頑張った充実感を味わう。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 運動会に向けた学級の取組について相手の思いを受け止めて聞いたり相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 運動会に向けた学級の取組についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、運動会に向けた学級の取組について話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、運動会までの練習日程を提示する。 | |
| 本時 | ○サブリーダーとしての役割を果たしながら取り組むよさや必要性を知る。 ○運動会に向けて、学級のめあてや練習内容、方法、応援団編成等について、根拠を明らかにして話し合う。 ○運動会に向けての学級の取組を決める。 | ○話し合いへの意欲を高められるように、サブリーダーとしての役割を果たしながら取り組むよさや必要性を助言する。 ○学校全体を視野に入れた具体的な取組が考えられるように、達成可能かどうか助言する。 ○実践への意欲が高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇5年生の役割として適切である、みんなで協力できる等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③> |
| 事後 | ○決まったことをポスター等で掲示し、運動会に向けて実行していく。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・学校行事の全体練習や応援練習との関連を図り、適切な時期に行う。 | | | |

| 「ともに分かる」クラスにしよう | | (1時間) | |
|---|---|--|---|
| ねらい | 「ともに分かる」クラスにすることで互いに高め合うことができるよさを基に、「ともに分かる」クラスにするために必要なことを根拠を明らかにして話し合い、みんなで実行していくことを集団決定するとともに、学級全体で協力して取り組むことによって、自分たちで生活をよりよくする充実感を味わう。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 「ともに分かる」クラスにするために必要なことについて相手の思いを受け止めて聞いたり相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 「ともに分かる」クラスにするために必要なことについての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、「ともに分かる」クラスにするために必要なことについて話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、「共にわかろう」の掲示の内容を確認する時間を設定する。 | |
| 本時 | ○「共に分かる」クラスにしていくことのよさを知る。 ○「共に分かる」クラスにしていくためにみんなで取り組んでいくことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○学級全体で取り組むことを決める。 | ○話し合いへの意欲を高められるように、「共に分かる」クラスにしていくことのよさを助言する。 ○取り組むことを具体的に考えられるように、「共にわかろう」の振り返りの項目を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇『『共に分かる』クラスになる』、「みんなができる」等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③> |
| 事後 | ○決定したことを学級全体で実行する。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・「ともにわかろう」の振り返りシートを活用するとよい。 ・題材一覧表にはないが、実態に応じて行えるとよい。 | | | |

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 5年2学期

| 教師の先生とお別れ会をしよう (2時間) | | |
|----------------------|--|---|
| ねらい | 実習生に感謝の気持ちを伝えるよさを基に、実習生とお別れ会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を合意形成するとともに、役割を分担し合 って協力して集会を行うことにより、実習生に感謝の気持ちを伝える集会の充実感を味わう。 | |
| 評価 規準 | (①知・技) 実習生とお別れ会の内容について相手の思いを受け止めて聞いたり相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 実習生とお別れ会の内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、実習生とお別れ会の内容について話し合ったりお別れ会に参加したりしようとしている。 | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、実習生との生活を振り返るよう伝える。 |
| 第1時 | ○話し合いへの意欲を高められるように、実習生の立場からお別れ会を行うことよきについて助言する。 ○具体的な内容を考えられるように、実習生と一緒に楽しめる感謝が伝わるの視点を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇実習生に対して感謝の気持ちを伝える等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。<発言・学習プリント①②③> |
| 第2時 | ○集いに積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認するよう促す。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、実習生に感謝の気持ちを表せたことを称賛する。 | ◇決定したことを基に、みんなで協力して、実習生に感謝を表しながら楽しくお別れ会をしている。<行動③> |
| 事後 | ○お別れ会を振り返り、感想を発表し合う。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 |
| 【備考】 | | |

| 委員会活動を見直そう (1時間) | | |
|------------------|---|---|
| ねらい | 委員会活動をよりよいものに改善していくよさを基に、委員会活動を充実させる方法について根拠を明らかにして話し合い、各委員会での取組を合意形成するとともに、委員会活動に工夫して取り組むことによって、上級生として学校の仕事に分担、協力して取り組む充実感を味わう。 | |
| 評価 規準 | (①知・技) 委員会活動を充実させる方法について相手の思いを受け止めて聞いたり相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 委員会活動を充実させる方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、委員会活動を充実させる方法について話し合ったり決めたことに沿って委員会活動に取り組んだりしようとしている。 | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、委員会活動のよさを伝える。 |
| 本時 | ○話し合いへの意欲を高められるように、委員会活動をよりよいものに改善していくよさを助言する。 ○具体的な工夫が考えられるように、所属の委員会の活動についての意識調査から、活動の問題点が明確になる資料を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇活動の創意工夫ができる、日常的・継続的にできる等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。<発言・学習プリント①②③> |
| 事後 | ○話し合ったことを学校委員会や各委員会に提案する。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 |
| 【備考】 | | |

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 5年2学期

| よりよい学級にしよう | | (1時間) | |
|---|---|--|--|
| ねらい | よりよい学級にすることのよさを基に、学級全体で取り組んでいくことについて根拠を明らかにして話し合い、具体的な取組を合意形成するとともに、協力して生活することによって学級の生活を向上させる充実感を味わう。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 学級全体で取り組んでいくことについて相手の思いを受け止めて聞いたり相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) よりよい学級にするための取組についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級全体で取り組んでいくことについて話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、よりよい学級のアンケート結果を提示する。 | |
| 本時 | ○よりよい学級にすることのよさを知る。 ○よりよい学級にするために、取り組むことについて根拠を明らかにして話し合う。 ○学級全体で取り組んでいくことを決める。 | ○話し合いへの意欲を高められるように、みんなで協力して生活を送ることのよさについて助言する。 ○具体的な取組が考えられるように、よりよい学級の姿について、具体的な学校生活の場面から助言する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇よりよい学級にできる、みんなができる等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③> |
| 事後 | ○決定したことを基に、よりよい学級づくりを実行していく。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・議題ボックスを準備しておき、そこに寄せられた課題を基に議題を設定してもよい。またはアンケートでもよい。 | | | |

| 自己PR大会をしよう | | (2時間) | |
|------------|---|--|---|
| ねらい | 自己PRをすることによって一人一人のよさが分かる楽しさを基に、一人一人のよさを生かす集会の発表方法について根拠を明らかにして話し合い、よりよい発表方法を合意形成するとともに、役割を分担し合って協力して集会を行うことによって、一人一人のよさを生かした活動をつくる楽しさを味わう。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 一人一人のよさを生かす集会の発表方法について相手の思いを受け止めて聞いたり相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 一人一人のよさを生かす集会の発表方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、一人一人のよさを生かす集会の発表方法について話し合ったり自己PR大会に参加したりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、教員自身の自己PRをする。 | |
| 第1時 | ○自己PRをすることによって一人一人のよさが分かることを知る。 ○一人一人のよさを生かすことを目的とした集会の発表方法について、根拠を明らかにして話し合う。 ○集会の発表方法を合意形成する。 | ○話し合いへの意欲を高められるように、自己PRによって一人一人のよさが分かることを助言する。 ○具体的な方法が考えられるように、一人一人のよさを生かしているかどうかを助言する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇全員のよさが生かせる、時間内でできる等の発表方法の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③> |
| 第2時 | ○計画を基に、楽しく集会をする。 ○集会を楽しめたことや、一人一人のよさを生かしたことを発表し合う。 | ○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認する。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、一人一人のよさが発揮されたことや計画通りに集会が進められたことを称賛する。 | ◇決定したことを基に、みんなで協力して、一人一人のよさを生かしながら楽しく集会をしている。 <行動③> |
| 事後 | ○計画委員会を中心に、活動のよさを振り返る。 | ○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 | | | |

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 5年2学期

| | | |
|--------------------------------|---|---|
| 気になる異性 | | 10月(1時間) |
| ねらい | 異性の友達と協力し合うことよさや必要性を理解し、異性の友達との接し方について、根拠を明らかにして話し合い、自分が取り組んでいくことを決定するとともに、一人一人が実行し、異性の友達と仲良く、協力し合いながら生活を送る。 | |
| 評価 規準 | (①知・技) 異性の友達と協力し合うことよさや必要性を理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 異性の友達との接し方についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、異性の友達との接し方について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | |
| | 活動内容 | 指導上の留意点 |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、異性への関心アンケートの結果を提示する。 |
| 本時 | ○異性の友達と接する際の気持ち等を基に、気になる異性がいることは、ごく自然なことであることに気付く。 ○異性の友達との接し方について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいくことを決める。 | ○問題意識を高められるように、異性を好きになること はごく自然なことであることを助言する。 ○具体的な接し方が考えられるように、日常的に男女で 仲良く、協力し合って活動している子どもを紹介する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあて が考えられた子どもを称賛する。 |
| 事後 | ○決まったことを基に、異性と仲良く、協力し合いながら生活する。 | ○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。 |
| 【備考】 ・異性への関心を知るためのアンケートを行うとよい。 | | |

評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」

◇嫌な思いをしない、自分に合っている等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。
<発言・学習プリント①②③>

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 5年2学期

| 2学期のめあてをつくろう | | 8月(1時間) | |
|----------------------|--|---|---|
| ねらい | 自分を高めるための課題を明確にして生活することのよさや必要性を理解し、2学期に頑張っていきたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに一人一人が実行し、自らを向上させながら生活する。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 自分を高めるための課題を明確にして生活することのよさや必要性を理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 2学期に頑張っていきたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、2学期に頑張っていきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、1学期の子どもたちの頑張りを紹介する。 | |
| 本時 | ○2学期の学習や生活の概略をつかみ、見通しをもつ。 ○1学期や夏休みの頑張りを基に、さらに自分を高めていくための課題を明確にしためあてについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、めあてカードに書く。 | ○問題意識を高められるように、1学期のめあてに向かって頑張った子どもの取組を紹介する。 ○具体的なめあてを考えられるように、2学期の学習や生活と自分の課題を関連させた、無理のないめあてになるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが考えられた子どもを称賛する。 | ◇2学期に頑張りたいことを発言したり、めあてを記述したりしている。 <発言・めあてカード①②③> |
| 事後 | ○めあてを基に生活し、実行の様子を振り返る。 | ○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・めあてカードを準備しておく。 | | | |

| 2学期を振り返ろう | | 12月(1時間) | |
|-----------------|--|--|---|
| ねらい | 自分の生活を向上させてきたことのよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 自分の生活を向上させてきたことのよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、2学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表) 2学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、2学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材についての問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。 | |
| 本時 | ○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことのよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○2学期の振り返りをカードに書く。 | ○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつながった具体的なよい姿を提示する。 ○2学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれからの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ましたりする。 | ◇2学期の成果や課題を発言したり記述したりしている。 <発言・振り返りカード①②③> |
| 事後 | ○自分の振り返りに基づいて生活する。 | ○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。 | |
| 【備考】 ・通知表を配付する。 | | | |

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 5年2学期

| | | |
|-------------|---|---|
| 冬休みの計画を立てよう | | 12月(1時間) |
| ねらい | めあてをもって冬休みを過ごすことよさを知り、冬休みに頑張りたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい冬休みを送る。 | |
| 評価 規準 | (①知・技)めあてをもって冬休みを過ごすことよさを知り、冬休みに頑張りたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)冬休みに頑張りたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、冬休みに頑張りたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | |
| | 活動内容 | 指導上の留意点 |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、冬休み中の行事や期間を伝える。 |
| 本時 | ○2学期のめあてを振り返り、めあてをもって冬休みを過ごすことよさを知る。 ○冬休みのめあてを学習面、生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○の冬休み」に記入する。 | ○問題意識を高められるように、冬休みの過ごし方のよい例や悪い例を紹介する。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「冬休みに合っている」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてを考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。 |
| 事後 | ○計画に基づいて冬休みを過ごし、自己評価する。 | ○今後の生活の仕方を意識できるように、冬休み明けに実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。 |
| 【備考】 | ・「○○の冬休み」を用意しておく。 ・冬休みの宿題を配付する。 | |
| | | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 ◇冬休みのめあてを発言したり記述したりしている。 <発言・○○の冬休み①②③> |

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 5年3学期

| 係を工夫しよう | | 1月(1時間) | |
|-------------------------|---|---|--|
| ねらい | これまでの成果を踏まえ、学級の係活動を見直して取り組んでいくよさや必要性を基に、3学期に必要な係について根拠を明らかにして話し合い、係活動とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で分担し、協力して仕事に取り組む充実感を味わう。 | | |
| 評価 規準 | (①知・技) 3学期に必要な係について相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 3学期に必要な係についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、3学期に必要な係について話し合ったり係の仕事を行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、2学期の係活動のよかったところを紹介する。 | |
| 本時 | ○3学期に必要な係について、根拠を明らかにして話し合う。 ○係ごとに話し合い、めあてを決めたり、活動の計画を立てたりする。 | ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「学級の役に立つ」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇3学期に必要な係を発言したり活動の計画を立てたりしている。 <発言・ポスター①②③> |
| 事後 | ○めあてや計画に基づいて取り組む。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・係ごとにポスターを作り、掲示する。 | | | |

| 新1年生の教室を飾ろう | | 3月(2時間) | |
|-----------------------------------|--|---|---|
| ねらい | 最上級生として1年生が楽しめるような教室の飾り付けをすることのよさを基に、1年生の教室の飾り付けの仕方について根拠を明らかにして話し合い、役割を分担し、協力して取り組むことによって、学校の生活を向上させる楽しさを味わう。 | | |
| 評価 規準 | (①知・技) 1年生の教室の飾り付けの仕方について相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 1年生の教室の飾り付けの仕方についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、1年生の教室の飾り付けの仕方について話し合ったり委員会活動に責任をもって取り組んだりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う議題を知る。 | ○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、教室飾りの内容と制作の見通しを伝える。 | |
| 第1時 | ○前年度の教室飾りを見る。 ○新1年生の教室を飾り付ける意義について根拠を明らかにして話し合う。 ○役割分担を行う。 | ○1年生に合った飾り付けに向けた意識を高められるように、新1年生が学校生活で不安に思うことを伝える。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「新1年生の立場に立って考えている」等の話し合いの視点を提示する。 ○自分の役割に責任をもって取り組めるように、一つ一つが大切な役割であることを助言する。 | ◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③> |
| 第2時 | ○役割ごとに飾りを制作する。 | ○協力して取り組めるように、アドバイスしたり自分の役割を自覚して制作したりしている子どもを称賛する。 | |
| 事後 | ○新1年生の教室準備で壁面を飾る。 | ○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・5年WSのロッカーに教室飾り制作用の道具が入っている。 | | | |

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 5年2学期

| 心の健康(養護教諭とのTT) | | 1月(1時間) | |
|----------------|--|--|--|
| 題材のねらい | 人によって様々な考え方や感じ方があることを知り、自分とは異なる考え方や感じ方の人との関わり方について、根拠を明らかにして話し合い、自分が取り組んでいくことを決定するとともに、一人一人が実行し、誰とでも協力し合いながら生活を送る。 | | |
| | 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、考え方や感じ方の異なる友達と関わるよさを助言する。 | |
| 本時 | ○人によって様々な考え方や感じ方があることを知る。 ○自分とは異なる考え方や感じ方の人との関わり方について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいくことを決める。 | ○問題意識を高められるように、考え方の相違から困ったことになる場面をT1とT2で演示する。 ○具体的な関わり方を考えられるように、普段の生活で友達と考えが合わなかったときにしていることを問いかける。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりに取り組んでいくことを決められた子どもを称賛する。 | ◇自分が新たにできる、解決に近づく等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③> |
| 事後 | ○決まったことを基に、誰とでも協力し合いながら生活する。 | ○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 | <ul style="list-style-type: none"> ・「考え方の相違から困ったことになる場面」とは、休み時間の遊びの場面や委員会活動等の話し合いの場面などが考えられる。 ・話し合い後に、養護教諭からまとめの話をしてもらおうとよい。 | | |

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 5年3学期

| 3学期のめあてをつくろう | | 1月(1時間) | |
|--------------|--|--|--|
| ねらい | 自分を高めるための課題を明確にして生活することのよさや必要性を理解し、3学期にがんばっていききたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに一人一人が実行し、自らを向上させながら生活する。 | | |
| 評価基準 | (①知・技) 自分を高めるための課題を明確にして生活することのよさや必要性を理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 3学期にがんばっていききたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、3学期にがんばっていききたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価基準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、「○○の冬休み」を提示する。 | |
| 本時 | ○3学期の学習や生活の概略をつかみ、見直しをもつ。 ○2学期や冬休みのがんばりを基に、自分を高めていくための課題を明確にしためあてについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、めあてカードに書く。 | ○問題意識を高められるように、3学期の行事の写真を提示したり、各教科の学習内容を紹介したりする。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「自分を高められる」「6年生への準備になる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが考えられた子どもを称賛する。 | ◇3学期にがんばりたいことを発言したり、めあてを記述したりしている。 <発言・めあてカード①②③> |
| 事後 | ○めあてに基づいて生活し、取組の内容や方法を振り返る。 | ○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 | | | |

| 附属小のリーダーとして | | 2月(2時間) | |
|---|--|---|--|
| ねらい | 学校の最上級生の大切さを知り、最上級生としてのあり方について根拠を明らかにして話し合い、自分で取り組んでいくことを決定するとともに、一人一人が実行し、附属小のリーダーになることを意識して生活する。 | | |
| 評価基準 | (①知・技) 学校の最上級生の大切さを知り、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 最上級生としてのあり方についての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、最上級生としてのあり方について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価基準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、「新6年生に引き継ぐこと」を提示する。 | |
| 第1時 | ○6年生の活動を見て気付いたことや、「新6年生に引き継ぐこと」を読んで気付いたことを発表し合う。 ○最上級生としてのあり方について、根拠を明らかにして話し合う。 ○附属小学校のリーダーとしての心構えをもつ。 | ○問題意識を高められるように、最上級生の役割を伝える。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「6年生としてふさわしい」等の話し合いの視点を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。 | ◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③> |
| 第2時 | ○6年生に向けて決定していくこと(旗長や旗の図案等)を話し合い、グループごとに決定する。 | ○実践への意欲を高められるように、最上級生としての役割に気づき、積極的に取り組んでいる子どもを称賛する。 | ◇6年生として自分たちができることを考えて、附属小学校のリーダーとしての意識をもって取り組もうとしている。 <行動③> |
| 事後 | ○6年生から引き継いだ活動を実行していく。 | ○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 : 第6学年の教員と連絡を取り合い、「新6年生に引き継ぐこと」との連携を図るようにする。なお、「新6年生に引き継ぐこと」は冊子として各学級に1冊贈られる。 : 関連題材-学級活動(1) 3学期「新1年生の教室を飾ろう」 | | | |

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 5年3学期

| 3学期を振り返ろう | | 3月(1時間) | |
|-----------------|--|--|---|
| ねらい | 自分の生活を向上させてきたことのよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。 | | |
| 評価 規準 | (①知・技) 自分の生活を向上させてきたことのよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、3学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表) 3学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、3学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材についての問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。 | |
| 本時 | ○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことのよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○3学期の振り返りをカードに書く。 | ○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつながった具体的なよい姿を提示する。 ○3学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれからの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ましたりする。 | ◇3学期の成果や課題を発言したり記述したりしている。 <発言・振り返りカード①②③> |
| 事後 | ○自分の振り返りに基づいて生活する。 | ○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。 | |
| 【備考】 ・通知表を配付する。 | | | |

| 春休みの計画を立てよう | | 3月(1時間) | |
|------------------------|--|--|---|
| ねらい | 春休みを計画的に過ごすことのよさや必要性を知り、最上級生になるための心構えがもてるような春休みのめあてについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに一人一人が実行し、充実した春休みを送る。 | | |
| 評価 規準 | (①知・技) 春休みを計画的に過ごすことのよさや必要性を理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 春休みにがんばりたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、春休みにがんばりたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。 | | |
| 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 | |
| 事前 | ○本時に話し合う題材を知る。 | ○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、5年生の生活のよかったところを紹介する。 | |
| 本時 | ○春休みを計画的に過ごすことのよさを知る。 ○最上級生になるための心構えがもてるような春休みのめあてを、学習面、生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○の春休み」に書く。 | ○問題意識を高められるように、春休みの過ごし方のよい例や悪い例を紹介する。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「実際にできる」「6年生に向けて大切なこと」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの方法が決められた子どもを称賛する。 | ◇春休みにがんばりたいことを発言したり記述したりしている。 <発言・○○の春休み①②③> |
| 事後 | ○めあてに基づいて春休みを過ごし、自己評価する。 | ○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。 | |
| 【備考】 ・「○○の春休み」を準備しておく。 | | | |